

第2展示室●特別展示

木村武山 彩色杉戸絵

会期：令和4年3月9日(水)～4月17日(日)

彩色杉戸25枚(うち19枚は両面)全44面

※都合により、出品作品が一部変更される場合があります。

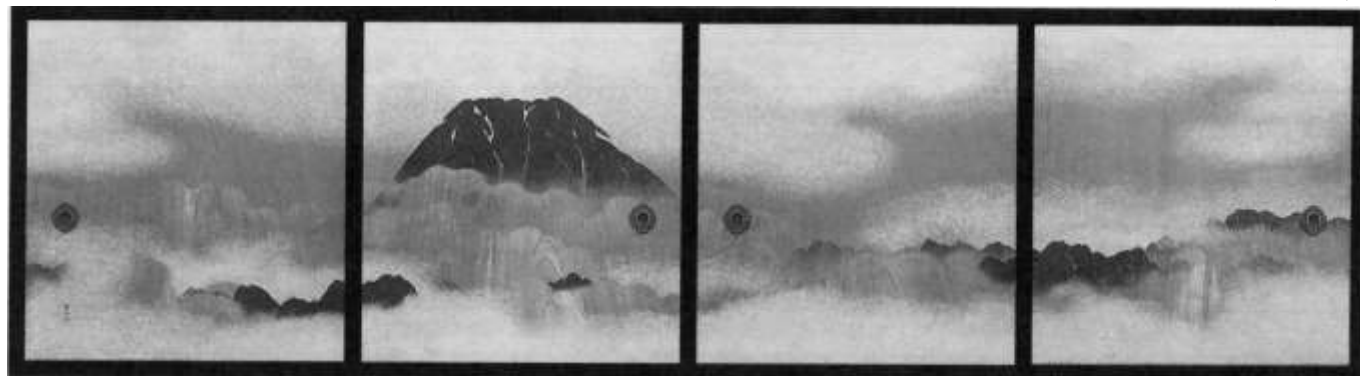
「松図」8面、「富岳図」4面、「紅梅図」2面、「桐図」1面、「日の出図」2面、「四季草花図」22面、「柏に笹」4面、「笹に流水」1面

現・行方市出身で、船舶事業で財を成し、政治家としても活躍した内田信也(1880-1971)が大正8年頃に兵庫県神戸市須磨に建てた豪華な邸宅は、須磨御殿とも呼ばれました。今回展示する彩色杉戸絵は、横山大観らと共に日本美術院の中心として活躍した笠間出身の画家、木村武山(1876-1942)がこの邸宅のために描き、実際に邸内で使用されていたものです。

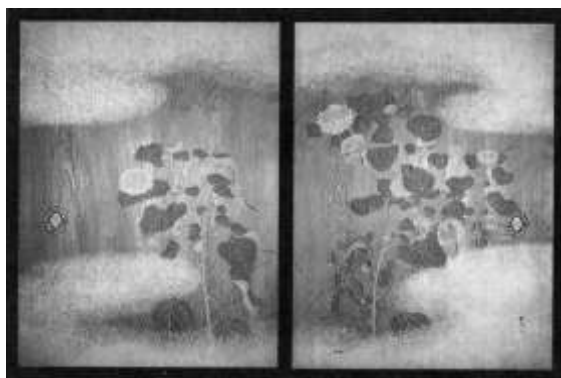
平成7年、阪神淡路大震災で須磨御殿は被害を受け、解体されました。しかし、幸いにも損傷を免れた杉戸絵は、平成13年、所有者のご意向により武山の郷里である茨城の当館に寄託されました。こうして茨城で公開できることは、幸運なめぐりあわせといえるでしょう。



松図 (8面の内)



富岳図



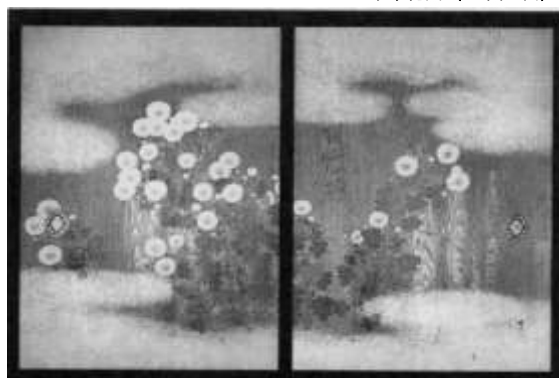
四季草花図 (22面の内)



四季草花図 (22面の内)



四季草花図 (22面の内)



四季草花図 (22面の内)